

減税の検証
2010決算

経済水道委員会 さはしあこ議員

減税財源に
事業仕分け

御殿より
中小企業支援を

中小企業への発注、5割台の契約金額 全国の政令市の中で最低レベル

市民経済局の2010年度の決算についての審査で、さはしあこ議員は、不況で苦しむ中小企業の実態を示し、支援の充実を求めました。

深刻な不況に苦しむ中小企業

名古屋市の中小企業への発注率は、契約金額の比率で見ると19政令市の中で17位。さはしあこ議員の質問に対し「国や県が設定した率はクリアしている」と応えました。さはしあこ議員は「中小企業を取り巻く状況が厳しいことを考えれば、さらに支援を強化すべきだ。分離分割発注を努力する余地はあるのではないか。」と指摘しました。

住宅リフォーム制度などで地域おこしを

さはしあこ議員は「区役所単位で小規模事業者登録制度を設け、地元業者の受注機会を増やす。住宅リフォーム制度の創設など、民間事業の仕事おこしで中小企業を元気にさせる」ことなどを提案しました。

十分な成果が出ない緊急雇用創出事業

助成金を活用した緊急雇用創出事業では、一定の効果はあったものの、失業者が解消されない状況は継続しています。しかし人件費を抑えたところが受



託したため助成金が余りました。また、ふるさと雇用再生事業では72人が雇用されました「地域の創意工夫で、地域の求職者等が継続的に働く場を創り出す」という安定した雇用にはなっていません。

大型事業偏重をやめよ

10%減税を実施した2010年は転入人口が減りました。本丸御殿への寄付も減りました。さはしあこ議員は、ムダな大型事業をやめ、身近な事業で中小企業への発注を増やすことを求めました。



事業仕分けの傍聴を

とき・10月21日(金)22日(土)23日(日)

午前9時15分開場 45分開会

仕分け 10時~午後4時30分

ところ・名古屋市公館(市役所の東南)

傍聴定員は各班40名。先着順です

主なスケジュール

	第1グループ	第2グループ
21日 (金)	30人学級、中学校スクールランチ、野外学習センター	市営住宅駐車場
22日 (土)	公立保育所の運営、ひとり親家庭手当、子育て支援手当	産業立地促進助成、公共用地の先行取得
23日 (日)	敬老バス、休養温泉ホーム松ヶ島、高年齢鯨城学園、生活衛生センター、中央看護専門学校	国営木曽三川公園事業負担金、みどりが丘公園、ランの館